

# 楽しいの奥ぐみ

10月になんて楽しいお友だちが増えて、ますますにぎやかに。てきたしいのみさんです😊

泣き声もあれば、笑い声も大きく、子どもたちのくるくる変わる表情にいつも楽しくなる担任です。

今日は緊急事態宣言が明けたこともあり、イセクラのお兄ちゃん、お姉ちゃんとお散歩に出かけたり、園庭で一糸者におさんざりしました。お兄ちゃん、お姉ちゃんに手をひいてもらったり、同じ目線で優しくお話ししてもらい、泣いてる顔が「ごめん、笑顔になろうね」とか、異年齢の子どもたちとの関わりも本当に素敵で、大切にしたいなと実感しました。しいのみさん(少しだけキキモするけど)刺繍もいっぱい!! 同じようにやってみたいなと目をキラキラさせて、お兄ちゃん、お姉ちゃんの姿を一生懸命追いかけています。小童れから真似、そして自分でやってみよう!! という意欲にもつながります。「やってみよう」と口で言わなくても自分の心が動いて「やってみよう」と体を動かす、これも大切なことかな。集団生活ならではの良さだと思います。

## 食べることは生きること



しいのみぐみは離乳食の子どもたちと乳児食の子どもたち...と食べているサイズが、様々で保育者の月齢の上で食べる子どもから木杵子に自分で座れる子どもまで月齢によって本当に色々です。そのため、日時間差で「食べるので高月齢の子どもたちには少しお部屋で遊んで待ってもらっています。まだみんな一糸者に「食べることは楽しいけど、しいのみぐみとして『楽しく食べる』ことを心がけています。離乳食の子どもたちは保育者と1対1だったりするので、舌の重さ、口の重さを見ながら表情を見て『おいしいねー』と顔を合わせ食べます。高月齢の子どもたちは一糸者に「食べるので、お友だちが食べてたら食べてみようかな」といって、苦手でどうも食べてみたり!! その口の重さを見逃さないように「スゴイ」と声をかけ、みんなでその姿を喜び合います。食べてる日時間、笑顔の多い子どもたちです。「食べることは『生きる』ことに直結しているので『食べる』が楽しく幸せな時間になり、色々な食事に興味を持っていきなさいと思います。



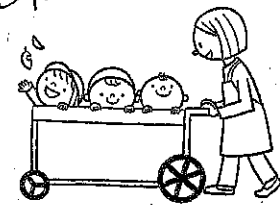
# しいの奥・たんぽぽ・みずぐみ

## クラスだより 2021.10.29

急に冷え込んだと思たら、温かく気持ちのいい陽さしを感じられるようになり、うまく身体がつかつかかか体調を崩しそうになりますが、鼻水が出てくる子どもも多くなりましたが、高熱で休むことなく元気に過ごすことができました。来月、もっと冷え込んでいきますが、みんな元気に登園するのを待っています。

❀ 薄着について ❀ これから冬に向かって気温が下がり、とんとん寒くなっていきますが、園(室内)では、半袖、半ズボンで過ごしています。暑い日には、汗をかいて体温を下げ、冷たい風が吹くと鳥肌がたつことで熱が逃げないように、人間のからだはできています。子どもは、歩く、走る、跳びはねる、登る、下る、立つ、座るなど、あそびの中だけでも、たえず動きまわり、じっとあそぶことは少ないです。そのため、じっとしている大人とは違い、新陳代謝も盛んで、体温が高いため、冬に厚着すると、汗をかき、汗が蒸発する時に身体の熱を奪い、体温が急激に下がり、風邪をひきやすくなります。大人よりも1枚少ないくらいが目安です。

そして、厚着になると、大人のようにうまく身体を動かせないので、もにとっては動きにくくなります。また、冷たい空気に皮膚が触れることで、皮膚が強くなり、風邪をひきにくくなるといわれています。今後、戸外に出る時は、気温や風、ひとり一人の体調も考えて、衣服で調整して出かけます。室内ではエアコンや床暖房を利用するようになるので、できるだけ半袖・半ズボンで過ごしたいと思います。



❀ お散歩マップ 第二弾!! ❀ 乗りものが大好きな子どもたちです。月齢の小さい子どもは言葉が上手になり、「でんしゃ!!」「バス!!」と大きな声で知らせています。月齢の大きい子どもたちも、負けじと(?)同じように知らせています。とても賑やかな時となります。新年度が始まった頃に、嵐電を見に北野白梅町まで行っていました。先日、又白梅町に行ってみると、嵐電がホームに入ってくると、指をさして「でんしゃ!!」と連呼し、大興奮していました。ここまで興奮して喜ぶ姿を見ると、歩いた甲斐があったなと思いました。帰り道では秋の爽さを感じました。

マップはうらハ →

## みずぐみ



10月は西ノ京公園や鹿垣公園に遊びに行きました。保育者の見守りの中で子どもたち同士で「1、2、3...」と10を数えて順番を守り、すべり台やブランコを楽しんでいました。西ノ京公園には落ち葉がたくさん落ちていたので、足で踏んで葉っぱの音を聞いたり、上からパラパラと雨のように降らせて、皆で笑いあっていました。また、みずぐみの保育室には、図鑑があるので特に昆虫の本を見ている子どもは戸外に出かけた際には小さな虫の存在にも敏感に反応し、じっと観察しています。一人ひとりがそれぞれに秋のおとずれを感じていたように思います。

室内では制作あそびとして絵本「わにわにのおおけが」に出てくる携帯電話をみんなで作りました。何回か見たことがある本だったので、「え、けいたい作るの? やりたい」と積極的に作っていました。使ったのは絵のぐとシールだけですが、好きな色や大きさをえらび、オリジナル電話が出来あがりました。ままごと遊びの中で携帯をもったやりとりが見られたので、日ごろの遊びの中で使ったり、少しでも遊びが広がると思います。

### 〈トイレは自分から...〉

日中パンツで過ごしている子は自分から尿意を感じ、トイレに行こうとしています。またオムツの子もその姿を見て、一緒に行こうとしています。寒くなってきたので、トイレに行く回数が増えたり、間にあわず出てしまう子どももいますが、尿意を感じ、自分からトイレに行き排泄を出来たことに対し、共に喜びながら様子を見ています。一人ひとり個人差もあるので、ゆくり見守っていきなさいと思います。

これからもっと寒くなってくると思うので、外では衣服の調整をしつつ、体調の変化に充分気をつけて過ごしていなさいと思います。